

**研修名 安全対策（事故防止）**

**平成29年7月10日（月）10:00～16:00**

**講演 「事故防止及び健康安全管理・災害への備え」  
「教育・保育施設等における事故防止及び  
事故発生時の対応のためのガイドライン」**

**講師 株式会社アイギス 脇 貴志 氏**

## 1 講演要旨

・雨や台風の災害は自分で防ぐことの出来る災害である。

雨は予測が可能だが、なぜ災害にあうのか。

➡雨が降る前に逃げないから。

「こんな事になるなんて予想もしていなかった。」と言うのは通用しない。

\*アメリカでは2005年のハリケーン・カトリーナの災害後、台風上陸の24時間前までに全住民を避難させるようになった。雨が強い時には、バスの走る方向まで変更している。

・10年間で120名以上の園児が保育園で亡くなっている。

安全対策は結果で評価するものではない。

➡安全な環境でなくても、必ず事故が起こるわけではないから。

『安全対策は人材育成』

保育現場の園児はどのようにして傷ついて、どのようにして亡くなっているのかを知らなければならない。

事故現場を検証することで、「原因」「保護者の考え」「保育者の力」「対応策」などがわかる。

安全対策は毎年変えなければならない。

➡時代は変化しているから。

ex)WHO がタミフルを補助的な薬と定めたが、日本は大量に蓄えている。

日本政府の最初の対応が間違えていたわけではないが、変わったなら対応も考えなおす必要があるということ。

ヒアリについても、散歩などでアザや水膨れなどができた際には、ヒアリの可能性を疑わなければならない。

↓

しかし人は自分をなかなか変えたくないもの

・平成27年4月1日から新制度が始まった

➡新しい法律が施行された。

旧制度では安全の基準がなかった為、事故が起こった後に対応していた。

\*保育業界では、事故が起こらなければ安全だ！というのが従来の考えだった。

新制度では、法律で安全について定められた。義務付けられた。

→事故が起こっていないから安全ではなく、第32条を遵守している事が安全だということ。

・園児の死亡原因 60%は原因不明。

・コンプライアンス違反と安全はつながっている事が多い。安全が脅かされて調査をすると、コンプライアンスに違反している事がわかる。

\*事故発生時の対応

施設事業者 → 守る義務 地方自治体 → 守らせる義務がある。

・重大事故の定義とは

園児が死亡、危篤状態、30日以上の治療が必要

・重大事故については行政へ報告 → 行政が分析、改善策、周知をしてくれる。

それ以外の事故では、園で個別に委員会を(定期的)に開く必要がある。

事故が起こっていないなくても、事故に至る危険性があった時にも委員会で話す必要がある。

自分たちのとった行動と、相手の反応を必ず記録する。

成功は「偶然」失敗は「必然」同じ失敗は繰り返さないように速やかに

→相手の気持ちに寄り添っていく。

※思い込み、他人ごと、後回し、隠すなど全ての原因は人にある。

原理原則➡リスクをとる。

リスクとリターンは常に釣り合っているもの

リターンだけを見てとり、後からリスクを見るとやめるのではなく、リスクを見て、覚悟を決めてとることが必要。

・園にはどんなリスクがあるのかを考えなければならない。

1. 作成
2. 共有・理解
3. 実行
4. 作成物＝現場

\*作成に力を入れている所が多いが、作っても現場と一致していないと意味がない。

・事故発生時の対応

ガイドラインでは、『心肺蘇生・応急処置、119番通報をする』

となっているが、まず119番通報してからもしくは同時に心肺蘇生や応急処置を行う。

\*119番通報は呼ばなくて後悔するよりも、呼んで後悔する。

上の判断を仰いで通報が遅れるのは最悪。通報してから「～でこういう状況だったので通報しました」と報告するのが正解。

・必ず子どもは事故前に前兆運動を起こす。

子どもは自分の気に入っている場所で亡くなっている事が多い。

何を思ってその場に行ったのか、それを感じ取る力が必要。それまでに必ず前兆があるので見逃さない。

【事故の原因は保育の現場で人の頭の中にある】

## 2 感想

今回の研修をうけて、「事故が起きなければ大丈夫」「そんなことになるとは思いませんでした」は通用しないとわれ、自分の考えの甘さを痛感した。

ちょっとぐらいという気持ちや、いつも何も起こっていないからという安心感でしっかりとした対応ができていないことが今までにたくさんあったと思う。

大きな事故が起きる前に、しっかりと対策を考えることと、事故が起きてしまった時の対応について、園全体で職員が共通理解をしてしっかりと連携をとることの大切さを学んだので、これからできる所から考えていきたいと思う。



( 記録 八幡保育園 笹本沙織 )